

未来を見据えて地層処分を考える

シン・ちか通信

Vol.20

発行：原子力発電環境整備機構 (NUMO)



1 TOPICS

小笠原村の皆さまを対象とした説明会・意見交換会を開催しました！ ～南鳥島における文献調査～

6月29日から7月3日にかけて、NUMOと東京都小笠原村の共催により、父島および母島において村民の皆さまを対象とした説明会を開催しました。地層処分の仕組みを説明する「基本的な内容」と、エネルギー政策の専門家を迎えた「専門的な内容」の2つのテーマに分け、延べ75名の方々にご参加いただき、様々なご意見・ご質問を頂戴しました。

◎ 開催概要

期 間 6月29日～7月3日

会 場 地域福祉センターホール(父島)、村民会館多目的ホール(母島)

プログラム

- ①基本的な内容を中心にした説明会(父島：2回／母島：1回)
「地層処分とは何か」「文献調査で何をするのか」についてNUMOから説明し、皆さまと質疑応答を行いました。
- ②専門的な内容を中心にした説明会(父島：2回／母島：2回)
京都大学複合原子力科学研究所 所長・教授の黒崎健氏をオンラインでお招きし、「日本のエネルギー政策における原子力発電の位置づけと電力確保に向けた研究開発」をテーマにご講演いただきました。また、質疑応答にはNUMO山口彰理事長もオンラインで参加しました。
- ③個別の説明・意見交換会(父島：1回／母島：2回)
より詳しく知りたい方や、じっくりお話ししたい方に向け、少人数による個別の意見交換の場を設けました。



父島での説明会

◎ 渋谷村長・山口理事長によるオンライン会見

説明会初日には、小笠原村の渋谷正昭村長と山口理事長によるオンライン会見を行いました。今後の展望を含めてコメントをご紹介します。

小笠原村 渋谷村長

文献調査受入時の村の要請事項の1つ目である「エネルギー政策の検討や新たな技術開発」に関連し、今回は専門的な説明会として黒崎教授にご講演いただき、私自身も大変勉強になった。参加者からは、今後の地層処分における技術的な視点や、南鳥島の自然環境、輸送問題などに関する意見が多く寄せられた。今後も村民の皆さまと意見交換をする場を大切に、次回は10月頃を目途に皆さまからの提案も踏まえたテーマで説明会を開催したいと考えている。

NUMO 山口理事長

「なぜ原子力を使うのか」という本質的な問いをはじめ、皆さまの関心の高さを実感した。「全国で考えるべき問題だ」というご指摘もいただき、全国での理解活動をさらに強化していく必要性を再認識した。7月からは、NUMOの組織に新たに「南鳥島(小笠原村)グループ」を設置した。専属の体制を整え、村民の皆さまと直接対話を重ねながら、今後も丁寧な情報提供を続けてまいります。



オンライン会見

配布資料

本説明会で皆さまからいただいた
ご質問と回答は、準備が整い次第、
NUMOホームページにて公開予定です。



TOPICS 2 「地域との信頼醸成」をテーマに世界と対話

6月25日から26日、韓国にて「地域との信頼醸成」をテーマにした高レベル放射性廃棄物管理に関する国際会議※が開催されました。処分地選定に向けて地域との対話を今後進める韓国をはじめ、日本、カナダ、フランス、スウェーデン、スイス、フィンランドの6か国から関係者が参加し、各国の取組みについて講演や質疑が行われました。

日本からはNUMOのほか、北海道寿都町の「対話の場」でファシリテーターを務める北海道大学大学院客員教授の竹田宜人氏、北海道神恵内村の「対話の場」運営委員をされている池本美紀氏が登壇しました。竹田氏からはファシリテーター経験に基づき、地域社会や

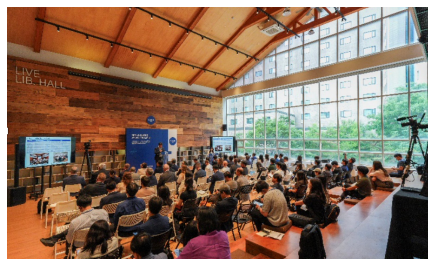
住民との対話活動から得られた課題や教訓について発表されました。池本氏からは、文献調査の受け入れが決まった当時の率直な心境や、プロセスに参画する中での気づきが語られました。最も印象に残ったNUMO職員の言葉である「原子力に関しては一度の失敗も許されない」というエピソードなどを交えた熱いメッセージは、国境を越えて会場の心を大きく揺さぶりました。

こうした一連の日本の発表に対し、会議の参加者から「非常に印象的な内容だった」と称賛いただき、会議後には韓国で関心を持つ民間団体の方からもっと話を聞きたいとご要望を受けると、現地でも大きな反響を呼びました。

各国の発表で改めて示されたのは、地層処分事業を進めるうえでは、「地域の方々が抱く不安や疑問に継続して向き合うこと」が不可欠であるということです。リスクや不確実性を含めて継続して情報を共有し、対話を重ねていく姿勢こそが長期的な信頼関係の構築につながることを各国で共有しました。

NUMOは、世界からの学びと、地域の皆さまからいただいた大切な視点を今後の活動にも活かしながら、一つひとつの対話を丁寧に重ねてまいります。

※韓国のHLW Management Commission(高レベル放射性廃棄物管理委員会)主催による「Safety Improvement & Stakeholder Confidence in Radioactive Waste Management(放射性廃棄物管理における安全性の向上とステークホルダーの信頼に関する国際会議)」



会場の様子



質疑の様子



セッションでの講演（NUMO職員）

TOPICS 3 対話でつながる技術開発 ～JpGU-AGU 2026 出展レポート～

5月24日から29日まで、幕張メッセにおいて、地球惑星科学分野で最大規模の大会である「JpGU-AGU Joint Meeting 2026」(日本地球惑星科学連合(JpGU)とアメリカ地球物理学連合(AGU)の共催)が開催されました。NUMOは処分地選定の調査技術や、処分場の設計・安全性を確認するための技術について広く知っていただくことを目的に、口頭・ポスター発表やブース出展を行いました。

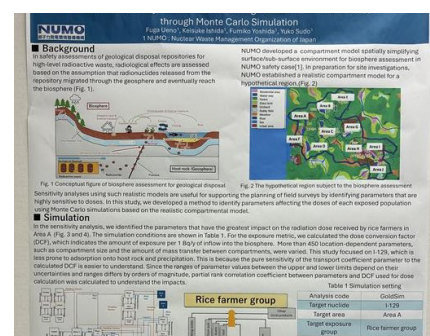
今回は、「原子力と地球科学」セッションに加え、「火山防災の基礎と応用」や「流域圏における物質輸送・生物多様性・環境変動」といった新たな分野でも発表しました。地層処分事業との接点が少なかった分野へもアプローチを広げたことで、幅広い分野の専門家や学生の方々に関心を持っていただく機会となりました。発表の質疑を通して、地層処分に関する有意義な意見交換ができ、新たなネットワークが広がりました。

ブースには延べ約600名の方々にご来場いただき、「地層処分の安全性をどのように確保するのか」といった基本的な質問から、技術開発に係る専門的な内容に関するものまで、多くの質問が寄せられました。来場者との対話を通じて、地層処分に関する新たな視点や知見に触れる、非常に実りのある機会となりました。

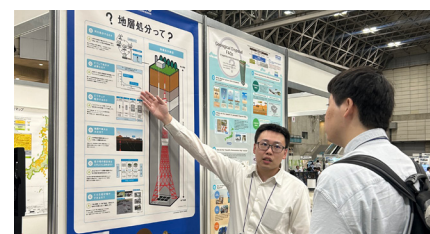
今回の出展で得られた来場者との交流や知見を活かして、今後も継続的に学会等を通じた情報発信と対話を重ね、多様な分野の皆さまとの相互理解の促進に努めてまいります。



NUMOブース



発表に用いた地層処分の環境影響評価に関するポスター「地層処分施設における生活圏の安全性評価：モンテカルロシミュレーションによる地質環境調査のための主要パラメータの抽出」



ポスターを用いて地層処分事業について説明

TOPICS 4 新任役員紹介(2026年7月)



副理事長 **松村 孝夫**

座右の銘

「傾聴」と「挑戦」

大切にしている言葉は、学生時代の恩師から指導を受けた「傾聴」と「挑戦」です。「傾聴」とは、相手の話や文献(論文等含む)を、関心と共感を持って丁寧に注意深く聴き・読み・理解しようと努める姿勢であり、「挑戦」とは、常にチャレンジ精神を持ち、少しでも現状より前進する理論や方法を考え、実践しようとする姿勢だと思っています。

経歴および抱負

私はこれまで電力会社に勤務し、その中の「建築部門」で多くを過ごしてきました。原子力・火力・水力発電所や、変電所等の電力施設建築物の計画・設計・工事・管理が主な業務内容です。

その後、原子力事業本部に移り、原子力全般にわたり関わらせていただき、常に最新の技術に対し真摯に取り組む姿勢、社会の皆さまへのご理解活動の大切さ、国全体の大きな方向性が関与する重要性を改めて認識いたしました。

NUMOが取り組む特定放射性廃棄物の最終処分事業は、これからの原子力を取り巻く環境の中で最重要課題のひとつです。安全最優先、地域共生、社会からの信頼という基本を大切に、地層処分事業の実現に向けて、誠心誠意取り組む所存ですので、よろしくお願いいたします。



オフショット

小さい頃から動物(昆虫含む)が好きでした。現在は、生まれたばかりの雌猫を縁あってもらい受け、15年3か月(2026年7月現在)。高齢ですが、科学雑誌 Newtonが昨年出版した増刊号 Nyaton『ネコの科学』によれば、平均寿命は昔と違い相当伸びて現在では普通とのこと。もう少し素直に、とは思いますが裏表なく本能で過ごしている姿には癒されます。

現場最前線

FRONTLINE

総務部の職員が取り組みを紹介



総務部 **柳原**



学生の皆さんへNUMOの事業や職場の魅力を伝えます

新卒採用担当者としてNUMOを知ってもらうために

私は2025年4月に入構後、採用担当として採用イベントや説明会での事業紹介をはじめ、インターンシップや内定式の企画・運営など幅広い業務に取り組んでいます。

採用イベントや説明会では、NUMOの事業だけでなく、職場の雰囲気や働き方についても紹介し、学生の方々が入構後の姿を具体的にイメージできるように説明することを心掛けています。また、自身の就職活動の経験を踏まえながら、参加された学生の皆さんからの不安や疑問にも丁寧に寄り添い、NUMOで働く意義や魅力を感じていただけるよう意識しています。

私自身、就職活動を行うまでは「地層処分」という言葉も知りませんでした。しかし、説明会に参加し、NUMOが高レベル放射性廃棄物の地層処分という、将来世代にも関わる重

要な社会的課題に向き合っていることを知り、その使命や役割の重要性に強く惹かれて応募しました。

かつての自分と同じように、地層処分事業になじみのなかった学生の方が、採用イベントを通じて関心を持ち、その後の採用選考に応募してくださった際には、NUMOで働く意義や魅力を伝えられたことを実感し、大きなやりがいを感じています。

8月以降も仕事体験や採用説明会の開催、採用イベントへの出展などを予定しています。少しでも興味をお持ちいただいた方はぜひご参加ください。未来の仲間となる皆さんとの新たな出会いを心より楽しみにしています。

もっと詳しく!

新卒採用情報について



5 TOPICS 「かもえない沖揚げまつり」地域と深まる交流

7月5日、北海道神恵内村で「第48回かもえない沖揚げまつり」が開催されました。当日は天候にも恵まれ、会場は約3000人の来場者で大賑わい。開会前から長い行列ができるほど大人気となった名物の「ウニ丼」の販売や伝統の「沖揚げ音頭」の息の合った披露など、お祭りならではの活気あるプログラムが会場を大いに沸かせました。

会場には新鮮な海産物やサクラマスカレーやブタネコノ缶詰などの神恵内村らしい特産品がずらりと並びました。また、地元の中学生在が今回のために考案したたこ焼き風「革命海焼き」を元気いっぱい声を張り上げて販売

するなど、地域が一体となってお祭りを盛り上げていました。

NUMO職員も運営の応援に駆け付け、地域の一人としてお祭りを支えました。NUMOブースでは、クイズラリーに加えてバスボムづくりなどの工作体験を実施し、夢中で手を動かす子供たちの笑顔であふれるにぎやかな場となりました。「去年も来ました」と声をかけてくださる方や、地層処分に関心を持ってブースを訪れる来場者も多く、地域の皆さまと改めて対話を深める貴重な機会となりました。

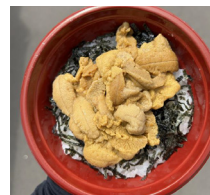
NUMOは今後も地域の皆さまとの交流を大切にしながら、対話活動に取り組んでまいります。



神恵内村のキャラクター
たつ姫(左)・どらごん太(右)と
グーモ(中央)



たくさんの新鮮なホタテ



名物のウニ丼



工作を楽しむ子どもたち

お知らせ 夏休みに親子で考えてみよう!

夏休みは、親子で科学の世界をのぞいてみませんか? NUMOは全国各地で開催される科学イベントへ毎週出展します。見て・触れて・体験しながら、地層処分やエネルギーの未来について、楽しみながら学べるプログラムをご用意。夏休みの思い出づくりに、ご家族そろってぜひお気軽にご参加ください。

夏休みイベント開催

地層処分やエネルギーの未来について、楽しみながら学べるイベントを開催します。展示や体験コーナー、解説プログラムなど、夏休みの学びの機会としてぜひご参加ください。

8/1(土) 8/2(日)	環境広場さっぽろ2026 夏休み!わくわく環境未来フェス	北海道 札幌市
8/5(水)	第20回研究所開放デー (原子力安全システム研究所 INSS)	福井県 美浜町
8/9(日)	体験しよう!地層処分 in 玄海交流センター ~夏休み企画~	佐賀県 玄海町
8/15(土) 8/16(日)	青少年のための科学の祭典2026 大阪大会 サイエンス・フェスタ	大阪府 大阪市
8/20(木) 8/21(金)	身近な科学の謎解き体験 『さいえんすパーティー2026』 作ろう!探ろう!調べてみよう!!	神奈川県 横浜市
8/22(土) 8/23(日)	青少年のための科学の祭典2026 熊本大会	熊本県 熊本市



夏休みイベントの様子
(青少年のための科学の祭典2026 大阪大会)

各イベントの
詳細について



自由研究のテーマ探しに! ~博士とチカちゃんの自由研究~

自由研究のテーマ選びに悩んでいませんか? 「博士とチカちゃんの自由研究」では、地層や石、化石、磁石など、身近な自然をテーマにした実験や観察のアイデアを紹介しています。楽しく学びながら自由研究に取り組めるヒントが満載です。ぜひアクセスしてみてください。



自由研究の
ヒントを
見てみよう!



日本中で考えよう。地層処分のこと。

7月から「日本中で考えよう。地層処分のこと。」をメッセージとして、テレビCMや交通広告、Web広告など全国規模の広報活動を展開しています。地層処分について、多くの方に関心を持ち、考えるきっかけとしていただくため、特設サイトでも情報を発信しています。



特設サイト



NUMOのキャラクター「グーモ」の紹介ページを公開!

NUMOのマスコットキャラクター「グーモ」をもっと多くの方に知ってもらうため、紹介ページを公開しました。「グーモ」ってどんなモグラ?好きなことや得意なことは?プロフィールはもちろん「グーモのくらし」をイラストで紹介しています。ぜひアクセスして、「グーモ」の魅力を発見してください!グーモは、8月に実施される日本経済新聞社の広告企画「NIKKEI企業キャラクター総選挙2026」にエントリーしています。応援よろしくお願いします!



グーモって
どんなモグラ?

